

「お客様は看板で来店する」

～一人ひとりのお客様の顔を浮かべ
心に届くものづくり・店づくり～

有限会社こまち 代表取締役

木棚 裕永氏



活き生き企業訪問記

「お客様は看板で来店する」

一人ひとりのお客様の顔を浮かべ

心に届くものづくり・店づくり

有限会社こまち

代表取締役

木棚 裕永氏

地域に根ざすカジュアル
店で「まさか」で、
「ものづくり」がされて
いるとは

重みのあるブルージーンズ
が並ぶ店の奥では、J U K I
の文字が入ったアイボリーの
マシンでゆつくりと型で切り
抜いた牛革と牛革を合わせ、



その端っこを慎重に縫い合
せていました。

盛岡市の昭和の昔ながらの
落ち着いた町並がある鉾屋町
に店舗を構えるジーンズ&カ
ジュアルショップ「KIDANA
NA（キダナ）」(南こまち)
は一九五八年(昭和三十三年)
から続く老舗のアパレル
ショップです。店を始めた当
時は、戦後の新品の洋服がな
かなか手に入らない時代背景
の中で、アメリカから輸入し
たジーンズや古着の中古販売
から始め、徐々に時代のニ
ーズの変化に合わせて現在の商
品構成になりました。

店内を見渡すとは国内外ブ
ランドのカジュアルやヴィン
テージもののジーンズ、オリ
ジナルのロングTシャツなど

幅広いアイテムが揃っていま
す。

すべてが手作りの 「NEN-RING (ネンリング)」

中でも目を引くのは岩手同
友会会員の(株)幸呼来 J a p a
n の裂き織と、鉾屋町で昔な
がらの藍染めをしている若手
作家とのコラボで作った作品
です。まず幸呼来でメーカー
から出たグレー系のジーンズ
生地を裂き、裂織として編み
込み生地を作成します。伝統
的な技法で染め上げた藍染め
のロングTシャツ生地の胸ポ
ケットにその裂き織生地をあ
しらった作品はもちろん一点
もの。世界中どこを探しても
一つだけです。

そして冒頭で紹介した木棚
氏が手掛けるハンドメイドの
革製品が、そうした「作品」
の中に融合するように並んで
います。「NEN-RING(ネ
ンリング)」と名付けられた
長財布や名刺入れなどは、設
計から革の裁断、染色、縫製
まですべて一つひとつ手作り
です。



お客様は、若い方から年配
まで幅広く、また青森や秋田
からもお客様が来店します。

こんな財布があったら いいよね

木棚氏は、結婚を機に二〇
〇六年に「SPICE」とい
うカジュアルショップを市内
に開店、その後長い間一人で
店をやりくりしてきました。

今後どうするか考えていた矢
先に、奥様のお父様である
「KIDANA（キダナ）」の
先代社長が突然引退すること
を知り、店舗を引き継ぐこと
になりました。

昭和の時代から六十二年間
幅広い年代のお客様に親しま
れてきたKIDANAには、
創業当時を知る方や「高校生の
の時代以来」四十年ぶりに
訪れたという方など、現在も
当時の面影を思い出し来訪す
る方々が多く見られます。

常連のお客様の中には、ふ
らっと立ち寄り、今の自分の
抱えた心情を吐露していく方
もおおいでになります。少し暗
い表情で店に入ってきた若者
の話を一時間ほど聞いて励
まし、帰りには自分の好みの
服を手笑顔で帰る方など、
店の滞在時間は自ずと伸びて
いきます。「話したくておい
でになるお客様も多いです
ね」木棚氏は、先代の義父か
らよく言われていたことを思
い出して話します。

「お客様は看板で来店す
る」。この思いが「KIDANA
NA」がこの地域に店を構え、
地域のお客様に愛されてきた
所以です。昭和、平成、令和
と三時代を盛岡市鉾屋町の歴
史ある町で看板を守ってきた。
その「何事も決してあき
らめない心」が、現在の「も
のづくり」につながる大きな

支えになっています。

木棚氏の前職は、花巻市内にある情報・メカトロ機器、医療・介護機器の企業で電気回路の設計者でした。ものを考えて作る事や、それを設計して生み出す気持ちはたとえ形が変わっても、木棚氏の原点でもあります。

その職人気質が生み出したのが、岩手県産の皮革を使った作品ができないか、との発想でした。盛岡に一軒しかない皮革専門店に通い詰め、一

から指導を受け、二〇一二年に初めての皮革を交互に編んだブレスレットを作成、店で販売を始めたところ非常に好評で、お客様からは次の作品の要望や、「こんな風にして

くれたらもつといい」などの提案が来るようになり、その期待に応えて更にいい作品へ挑戦していききました。

持ち前の手仕事への思いがどんどん溢れ出し、ついには財布や小銭入れや名刺を製作、デザイン、カット、縫製までの行程をすべて木棚氏が一人で作りあげる、オリジナル商品の開発に没頭していき

ました。見せていただいた中でもひとときわ輝いていたのが、深紅の浄法寺漆を塗り込んだ国産牛革の長財布です。「これはどんなに高い値段を付けられ

さに岩手の魅力がぎゅつと詰まった作品です。

デザインや形はお客様が使いやすいものを考えて丁寧の一つひとつ仕上げているので商品はせいぜい一日二個から四個程度しか作ることができません。それもそのはず、「こんなものがあつたらいいよね」「こんなものだったら使ってみたい」という声をお客様との会話の中でキャッチしな

がら形にするからです。「ジーンズのポケットからはみ出さないような長さの財布が欲しい」という一言に応える商品を設計からつくりあげる。実は「KIDANA」

が愛される理由がここにあります。「この服はあの人が好きなのはずだ」「こんな色の財布を作ったら、あの人に興味を持ってくれるはず」木棚氏のすべての店作りの基本です。一人ひとりのお客様の顔を浮かべ、その方の心に届く商品を店頭へ。「KIDANA」の看板は、どんな時代の変遷にも、新たな提案で応えていきます。



広がる企業でのSDGsの実践

八木澤商店の社員向けSDGsワークショップが六月二十三日、二十五日の両日、陸前高田コミュニティホールで開催されました。午前は三時間SDGsの本質と可能性を学び、午後は四時間かけてグループに分かれ、社会課題解決の視点で自社の新事業を仮想で創造しました。日頃工場と本社に分かれて仕事をするケースも多く、一緒にテーブルを囲み、じっくりと自分の考えを語り合う機会は貴重な社内交流の時間です。

最初は初めての体験にとまどいの表情もありましたが、徐々に言葉にも慣れ、午後にはSDGsの百六十九のターゲットの中から自分の好きなものを一つ選び、会社の持つ強みとつなげて新事業を生み出すことに挑戦しました。

僅かな時間の中ですが、すでにここまで朝から六時間。交わす言葉から自然に十、二十と発想が生まれてきます。そして最後には、それぞれのグループが自分たちの事業に名前を付けて構想を発表しました。

あるグループからは「集まれ

地域食堂！」と銘打った取り組みが発表され、参加者全員から関連してフードバンク構想やSDGsの「貧困をなくそう」のゴールとつながった、陸前高田から世界を変える発想につながるなど、様々なキーワードが生まれてきました。

帰り際の社員の笑顔とともに、会場ですっと見守る河野社長のに、日常の優しい社内雰囲気が感じられたワークショップの時間となりました。次回九月は地域と自社の未来展望を考えるSDGs学習会を予定しています。



支部・地区通信

「動き出した支部幹事会

地区情報交換会」

「会える喜び、語れる喜び」

県北支部

地域を越えた交流の場に

今年度から県北支部が再編され、北は三戸市、久慈市から岩手町、葛巻町を含む地域（沼宮内・三戸地区）、南は雫石町、滝沢市、八幡平市（岩手山麓地区）までを含む広域での支部編成となり、より細やかな顔の見える地区活動をめざして再出発することになりました。今月はそのスタートとして六月十六日（火）岩手広域交流センター「プラザあい」で県北支部情報交換会が行われました。



新県北支部交流会

当日は会場を倍の広さをと
り、十分な感染症対策をした
上で開催されましたが、佐藤

康之盛岡支部長、熊谷秀明気仙支部長、小川原一成岩手山麓地区会長をはじめ十三名が結集しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため三月から活動をWEBでの活動に限定していたため、三ヶ月ぶりの「リアル」再会となりました。参加者は一様に和やかな表情で「やっぱここに来ると安心するな」「久しぶりに顔を见られてホッとした」「なんでこんなに落ち着くんだろう」と、言葉を交わしながら、自然に笑顔が溢れてきます。

本音で語れる場所はここだけ

最初に「自粛が続く中ようやく集まるのができました。皆さんと情報交換をしながら有意義な時間にしたと思います。」と農業食糧生産部会長、沼宮内二戸地区会長の佐藤守氏より挨拶があり、全員での情報交換へと移りました。

数ヶ月ぶりに実際に集ま

ることができたことで、参加者からは「今後は一社だけではできないことを、企業間で協同しながら進めていくことが重要になっていくと思う」「コロナの影響はあるが新しいものを生み出すチャンスだと思う」「今年地元から採用したが、来年も二名採用予定」など、それぞれの現状を踏まえた思いをお話いただきました。

また、コロナ後の展望では、「次の世代を作っていくのは、今の世代。私たち自身が積極的な点と点を結ぶ発想に転じていかないと」「こういう場で課題を出し合い連携して解決できればいい」など、今後大きく変わるであろう社会構造の変化にも先取りで対応しようとする意欲的な話題が交流されました。

一人ひとり伝えたいことが多くあり話が尽きず、気がつけば予定の時間はあっという間に過ぎていました。最後に今回

初めて参加したゲストからは「地元の経営者から話を聞けて大変貴重な時間だった。」「これから一緒に勉強したい。」とあらためてここには本音で語れる仲間がいて、場所があることを感じさせられる時間になりました。再会したばかりの支部地区交流ですが、今後はじっくりと地域に根ざした活動を広げて行く予定です。



県北支部 岩手山麓地区幹事会

紫波花巻支部

六月九日(火)紫波花巻支部
六月幹事会が矢巾町のレスト
ラン文化で昼食を取りながら
開催されました。

皆さん会社はどうですか？

この三月末からコロナ禍の中、支部の行事が自粛されて
いましたが、五月の連休明け
から緊急事態宣言が緩和され
たこともあり久々に顔を合わ



“3密”を守り集まる紫波花巻支部

せた幹事会となりました。参加した幹事の皆さんは会場に入るとすぐに「久しぶり！元気だった？会社はどう？」や「この数カ月本当に不安だったよね…」等、皆笑顔での会話からスタートしました。

大変な時こそ

細かな情報交換を

瀬川支部長(紫波環境㈱代表取締役)からは「この数カ月、どの企業も本当に大変な状況だと思っています。しかしこの状況はしばらく続くと考えられます。でも、こんな時だからこそ同友会の仲間の情報交換が必要です。これから少しずつ会える機会を増やしながら、新しい支部例会を考え、変わる時代だと思います。」と挨拶されました。

幹事の皆さんからは「三月から、イベント等が中止になり、なかなか現在も開催するめどが立たない現状です。でも、同友会から

の情報発信をもとに使える制度は全部使い、次期にそなえていきたい」「この中でも新入社員を採用しました。元気に仕事をしています。一番は新入社員が入社したこと、担当部長や先輩社員が一番変わり社内が明るい雰囲気になりました。まさに共に育ち合う環境ができています。」等近況報告がありました。

支部初の試み オンライン総会！

二〇二〇年度の紫波花巻支部総会は七月九日(木)オンラインでの総会、その後初の試みでオンライン懇親会を開催いたします。全て初めての取り組みになります。支部の会員全員に声をかけ、多くの方が参加していただき新年度をスタートさせていきたいと幹事会で確認されました。

遠野・釜石地区

遠野・釜石地区情報交換会が六月十一日(木)あえりあ遠野で開催されました。遠野・釜石地区はこれまで、小人数

でも中味濃く、報告者を迎え、毎回地域のゲストが参加して学ぶ例会をコツコツと積み上げてきました。

久々に開催した情報交換会の報告者は杜陵テクノ㈱代表取締役 川村武司氏より「子どもたちが笑顔で暮らし続ける未来をつくる」持続可能な社会でエネルギーコンサルを目指すのテーマで報告いただきました。二〇一四年に代表になってから同友会に入会し経営指針を創る会に参加、そして青年部部長を受け、全国の経営者との出会いや学び、地域、社員、そして将来ビジョンについての取り組みをお話頂きました。

参加した皆さんから「二十二歳の女性社員が、入社して会社はどう変わりましたか？」「川村さんの話を聞いて自分も雇用を考えたが、本当に安心して雇用できるのか不安です。それを実践するには何を一番大切にしましたか。」などの質問がありました。

川村氏は「嬉しい事にその女性社員の入社のきっかけは理念に共感したという



報告者の川村氏を囲んで

事でした。会社の理念を真剣に伝え、社員皆がわが社に入社して幸せな人生をおくれる事を第一に考えます。そのために、産休や育休に関する就業規則の見直しは当然の事です。が、ひょっとしたらそのきっかけがなければ、気づかず何も変わらなかったかもしれません」と話されました。

(文) 遠野・釜石地区

菊池 陽佑

岩手同友会の三十年

実践！同友会と私

～歴史を支えてきた先達のリレートーク～

岩手同友会は来年、創立から三十年を迎えます。この間同友会を牽引し、企業経営と同友会運動を両輪に実践を続けてきた先輩方をリレーで紹介します。

第二回目は会員でありながら、ある時期事務局の役割も担いながら事務局と役員は真の共に育つパートナーであることを学び、会社経営に邁進し、岩手の「ミスター同友会」とも言われています。現在もなお、支部幹事会や例会では、時には厳しく時には温かく、若手からベテラン経営者のよき相談者として慕われる水戸谷完爾氏です。

東日本機電開発(株) 取締役会長 水戸谷完爾氏

■経営者の責任は、会社を継続し続けること

東日本機電開発(株)取締役会長・水戸谷完爾氏は、事業を引き継いでから今年で五十年になります。一番の危機は創業して十二年目に親会社が倒産したときのことでした。ある日突然工場長から社長として会社を引き継ぐことになりました。当時は「お客様に迷惑をかけるわけにはいかない。一人でも会社を残さないといけない」と必死だった。一番きつかった」と話します。

その後同友会に入り、役員研修会で中同協の蓮見事務局長(当時)から「経営者の責任は一言で言うと、会社を継続すること」と聞き、脳裏に

焼きついたその言葉のために全力で傾注してきました。「つぶさないというのは簡単だけれど、どうしたらそれが可能なのか、ずっと考えながらきた。これが私にとっての同友会。理念に沿って行動するというのは他の団体にはない。同友会理念という考え方がしっかりあったからこそ、ここまで会社も同友会もやってこれた」と水戸谷氏は話します。

水戸谷氏が社会人になった当時は、総資本対総労働の時代でした。「労使見解」(中小企業における労使関係の見解、中同協発行『人を生かす経営』所収)を読み、「よくもまあ労使が対等の立場でというような文章をつくったものだ」と、当時は思ったそうです。だからこそ強調します。『労使見解』ができた歴史的背景をきちんと捉えて学んでいかないといけない。同友会のような考え方を理解した人

たちがもともと増えていかないと、日本はよくならない。中小企業は地域の主役がもつと頑張らないといけないのに、われわれが自覚していない。中小企業憲章も、中小企業振興基本条例も、もつと真剣に取り組んでいかないと、地域が疲弊してしまう。そういう自覚の元に取り組んでいかないと日本も地域社会もよくなっていけない。思いは今なお強くなるばかりです。



東日本機電開発(株)の社屋

ドイツからの風

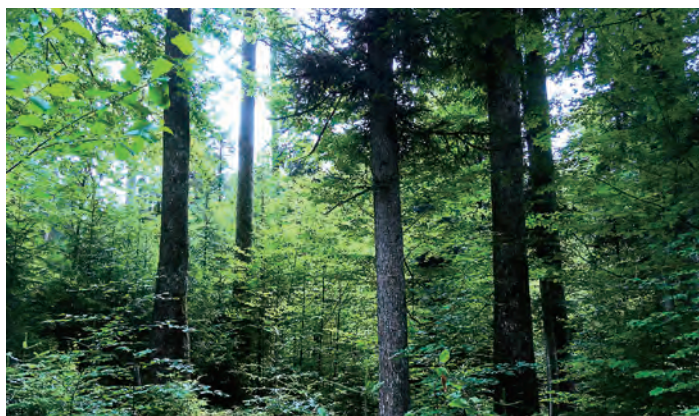


池田憲昭氏

プロフィール
1972年長崎県生まれ
岩手大学人文社会科学部(ドイツ文化専攻)卒業、フライブルク大学森林環境学ディプロム課程(修士相当)卒業
フライブルク地域を拠点に、ドイツ環境視察セミナーのオーガナイザー、異文化マネージメントのトレーナー、企業サポーター、日独プロジェクトのコーディネーター、専門通訳、ジャーナリストとして活躍されています。2011年9月Arch Joint Vision社を設立 現代表。

日本の森林には
とりわけ女性的な
感性が必要！

五月半ばより、ドイツのホームオフィスから日本の方々に向けて、オンラインセミナーを開催しています。初



めの試み。自分のMac

Bookから、カメラ撮影、パワポ、ビデオを、地球の裏側にいる数十人の方々に個別に同時に送り、ライブでディスカッションするなど、十年前は考えられなかったことです。

セミナーのメインテーマは私の専門の森林業。やってみて二週間、一番の収穫は、女性の参加者が半数近くいらっしやることです。

これまでのドイツでの視察セミナーや日本での講演会やワークショップでは、男性が八割から九割でした。オンラインなので、端末とネット回線さえあればどこからでも受講できるので、仕事や育児や家事の合間に、たくさんの方々に参加いただいていること、とても嬉しく

思います。

森林は地球上で人間の二〇〇倍も長く存続している複合的な生命共同体であり、人間の七〇〇〇倍の質量があります。人間に生活の糧や活力や感動、インスピレーションを与えてくれます。そんな偉大で多面的なものだから、それを扱う人間には、最大限の配慮と繊細な感覚、多方面への気配りが要求されます。これらは女性的な感性です。

森林大国日本の森林は、湿润な気候と豊穡な土壌に恵まれた環境にあります。一方で、複雑で急峻な地形と地質、繊細な土壌は、日本を頻繁に襲う嵐や大雨や人間による誤った開発行為で崩れやすく、だからこそ、森林が何千万年に渡る進化の過程のなかで構築してきた「複合的な多様性」による「強さ」を維持、創出

していくことが森林にたずさわる全ての人に求められます。日本がもつ森林という世界の人々が羨むかけがえのない資産、「豊穡」であると同時に「壊れやすい」宝物を、未来に引き継いでいくには、より女性的な感性が必要です。

森林だけではありません。コミュニケーション、企業、教育機関などあらゆる場所で、環境への、人への繊細で多面的な気配りが求められています。必要な気配りは、未来に向けた時間軸も含んでいます。次世代への配慮と想いです。これらを男性的に表現すると、自然との同盟、世代間契約です。

今回のコロナ危機は、私に経済的なダメージを与えましたが、新たな顧客層の開拓と様々な気づきの機会を与えてくれました。おそらくコロナのあとの世界は、以前とは違うものになっているでしょう。今は移行期。その新しい世界へ、自分の内面から積極的に繋がっていくプロセスの時だと思っています。

●池田憲昭さんへのご連絡・ご質問はメールでどうぞ。 e-mail ikeda@arch-joint-vision.com

ドイツ学びの旅 ～視察セミナー

森林業 木の建築 BIO SLOW 食 都市農業 自然医療

文化 地域創生 企業経営 グリーンインフラ

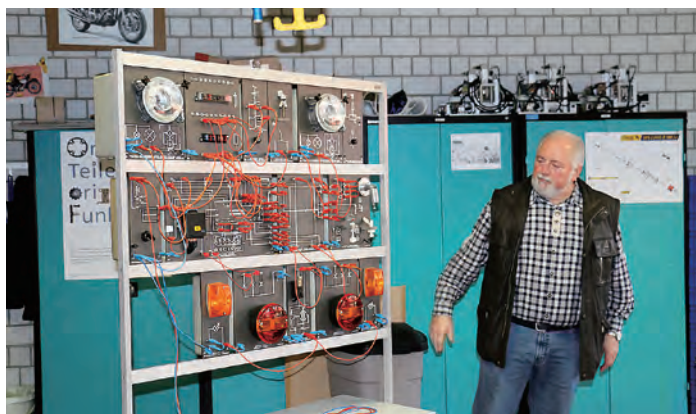
www.arch-joint-vision.com



「エネルギーシフトの原点は、若者たちの未来を描き、人が育つ環境をつくること」

地域挙げて 職人が育つ環境を支える

エネルギーシフトを進める
上で大切な視点に、一・省・



職業訓練アカデミーのマット先生（当時）

小エネルギー、二・エネルギーの
高効率化、三・再生可能エ
ネルギーによる創エネがあり
ましたが、もう一つ大切なポ
イントがあります。エネ

ギー自立のための調
査・研究、そして教育
です。

ドイツのマイスター
資格は三百種類以上も
ありますが、なかでも
手工業職経営者として
独立開業するために
は、手工業マイスター
の称号が必要です。そ
の職種は四十一ありま
す。マイスターを目ざ
す子どもたちは小学四
年生までの義務教育前
期（基礎教育小学校）
を終えるとすぐ、職業

訓練学校または義務教育後期
（日本では小学校高学年から
中学校）に五～六年間通いま
す。そして国家資格ゲツエ
レ（職人）を取る準備に入ります。

私たちが訪ねたフライブル
ク州の職業訓練アカデミーに
は、ゲツエレ取得に挑戦する
十代半ばの学生が目を輝かせ
て実技に取り組んでいまし
た。配管設備工・暖房装置エ
ンジニアのマイスターを目ざ
す授業では、丁度ボイラーの
修理技術の授業をしていまし
た。驚いたのは地下の実習室
にずらっと並ぶ給湯器の数で
した。その数は五百台以上。
形式も色も違うその機械は、
すべて製造した企業からの寄
付です。校内には一台数千万
円もする巨大なトラクターや



古いものから最新のものが並ぶ（給湯器）

各メーカーの自動車も並んで
います。製造メーカーも職人
を輩出する企業も州（自治体）
も地域挙げて職人が育つ環境
を支えています。

経営者になるための資格

長年教員を勤めるマット先
生は話します。「実際の現場
に行けば、二十年も使い込ん
だものもあれば最新の給湯器

に出会うこともあります。ど
んなメーカーのどんな年代に
作られたものも、その場で安
全に確実に直すことができる
のが職人です」。

実際に見習いとして報酬を
もらい働きながら学べる、ド
イツ独自のデュアルシステム
と呼ばれるこの教育システム
は、すべて無料で授業を受け
ることが出来ます。約三年半



背丈ほどもある大きさのトラクターのタイヤ

の間に見習い工として雇用主から報酬を受け取りながら、週一〜三回または数週間毎に授業に通い、技術や理論を二百時間以上、経済や社会に関する知識を七十時間以上学びます。そしてお客様から実際に受注を受けた形式での実技試験に臨みます。最終的には作業計画の作成、実際の作業と点検、明細書・請求書の作成などの一連の流れと経済や社会の知識の試験をパスし

て漸くゲツエレ（職人）を名乗ることが出来ます。

更にマイスターになるにはゲツエレ取得後二年以上の実務経験を経て、千八百時間の講義と実技、そして経営学、商業、法律、教育の四分野で百二十時間もの授業を受け、このすべてに合格しなければその称号は与えられません。マイスター制度は、社員を雇用し育てながら地域の期待に応えていく資格、まさに経営

者になるための資格とも言えるのです。

将来のありたい姿を描き、 今をできることを考える

将来の自分の姿を想像し、まだ十歳の時に進路を決める。こうした演繹的な考え方は、実はエネルギーシフト（ヴェンデ）の原点につながります。未来のありたい姿から現在を見つめたとき、今何をすべきか、何をしなければ

ならないかが明らかになります。

「ここではお客様からの注文に対し自分の頭で考え、自ら回答を作り出していく、内面から引き出す教育が繰り返し繰り返し行われます」。そう話すマツト先生は、腕っ節も太く大柄で一見怖そうに見えますが、実はユーモアと笑顔溢れる熱血教育者です。廊下ですれ違う学生たちと何度もハイタッチで応える雰囲気からも言葉は通じなくとも、学生一人ひとりへの愛情が伝わってきます。

私たちは簡単にマイスターと呼称を使っていますが、経営者として、そして教育者、人格者として認められた人しか、呼べる称号なのだと実感します。そしてまた、マツト先生のように若者たちの未来を描き、深い愛情を持って関わりあう人間的関係づくりがその原点であるのだと思います。

同友会運動の発展のために

中小企業家同友会の理念、活動のあり方、役員の役割など、運動を進める手引き



- 第1章 同友会理念について
- 第1節 同友会理念とは
- 第2節 同友会運動とは
- 第2章 同友会の活動と運営
- 第1節 各同友会の活動について
- 第2節 中同協の役割と活動について

A4判 63ページ。頒価 600円+税。

【ご購入はご所属の同友会事務局まで】

発行：中小企業家同友会全国協議会

新版「共に育つ3」 ～「労使見解」の正しい理解と実践を～

《全5冊予定の「共に育つ」シリーズ3巻目》



「労使見解」の正しい理解と共同求人、社員教育活動の理念を深めるとともに、労使見解をベースに経営指針を作成し、その実践として共同求人と社員教育に取り組む重要性を確認できる1冊です。

A5判 51ページ。頒価 500円+税

発行：中小企業家同友会全国協議会

ご購入はご所属の同友会事務局まで！！

新商品紹介

(株)東北ウエノ（鈴木雅彦代表取締役）は、飛沫感染対策商品として受付・食堂用のプリベンションパネルの販売を開始しました。受付用は来客や接客時の飛沫感染予防対策にポリエチレンテレフタレート（PET）を使ったパネルでS・L・ロングテーブル用の三種のサイズを展開。下部には隙間があるので郵便物や伝票はそこから出し入れ可能です。また食堂用はプラスチックダンボールを使用し乳白色・クリアの二種類。どちらもカスタムサイズの対応可能。予定販売価格は、受付用Sサイズ八六〇〇円から、食堂用は乳白色三、五〇〇円、クリア六、五〇〇円（すべて税・送料別）。お問合せは（株）東北ウエノまで。



■本紙掲載の例会や諸事業には、所属支部に関係なくどこにでも参加できます。ご連絡下さい。■例会や役員会などのカレンダーと事業案内を随時更新しています。■本紙掲載事業への出欠返信は、同封のファックス返信用紙またはedyuをご利用下さい。

包装設計のプロフェッショナル「東北ウエノ」は「適材適包」でお客様をサポート致します。

「PACKAG ENGINEERING」

詳しくはホームページで <https://www.touhokuueno.co.jp/>

株式会社東北ウエノ

〒021-0893 本社：一関市地主町3-35 TEL:0191-21-4531
テクニカルセンター：一関市地主町7-15 TEL:0191-32-5020

輸送包装便覧.com <https://www.transport-package.com/>

節電は経費削減につながります！

オフィスの照明を見直し、経費削減を実現しませんか？
お客様のニーズに合わせたLEDソリューションをご提案します。

長寿命 消費電力カット CO2削減 発熱が少ない

現場調査から取付工事まで、すべて平金商店へお任せ下さい！
LEDに入れ替えた場合のコストシミュレーションも可能です。
ぜひお気軽にご相談ください。

株式会社 平金商店 TEL:019-624-2121

物を大切にし環境にやさしくありたい 使わない人から使いたい人へ
総合リユースショップ Dokidoki 2nd STREET

(株)トータル・リユース

代表取締役社長 伊瀬 幸郎
ise yukiyo

本社 〒026-0041 岩手県釜石市上中島町2-2-33
TEL:0193-21-2126 FAX:0193-21-2127

携帯 090-8780-3296

E-mail: trise@arion.ocn.ne.jp

Southern Iwate DSG サザン岩手ドライビングスクールグループ
Southern Iwate Driving School Group

陸前高田ドライビングスクール 三陸技能講習センター
RIKUZENTAKATA DRIVING SCHOOL Sanriku skill training center

平泉ドライビングスクール 遠野ドライビングスクール
HIRAIZUMI DRIVING SCHOOL TOHNO DRIVING SCHOOL

携帯サイトはこちら

<http://www.si-dsg.com/mobile>



オリジナルラベル
ワインを作成します

周年記念、御中元、お歳暮、ノベルティ等

SHIWA 自園自産ワイン 紫波 社名ロゴ 写真 OK 包装、のし無料 12本以上 作成料無料
岩手県紫波郡盛岡市100%

お申し込み・お問い合わせ

Tel. 019-676-5301

自園自産ワイン紫波 (株)紫波フルーツパーク
盛岡市 岩手県紫波郡紫波町遠山字松原1-11



人と自然にやさしい環境を創り
地域型企業として貢献します。

水まわりのリフォーム
キッチン、バス、トイレ、洗面
浄化槽
安心安全！調査・施工・メンテナンス
北上営業所
岩手県盛岡市
住宅設備のアフターサービス
エコキュート、ボイラー、FFユニット

岩手日化サービス株式会社
盛岡市黒川22地割56番地
電話 019-696-5611

ゆたかな幸せのために、より良い環境創りで
真の循環型社会を目指します。

浄化槽保守点検 食用油 燃費削減 BDFの製造・販売 紫波町 紫波 BDF燃料 エネルギー 燃費削減 CO2

shikawa environment 紫波環境株式会社
岩手県紫波郡紫波町南日詰字小路口70-1
TEL:019-672-2656 FAX:019-601-2686
<http://shiwakankyo.com/>

し原・浄化槽汚泥収集運搬

DOYU I W A T E
同友いわて
2020 Vol.140

発行／岩手県中小企業家同友会
広報委員会

〒020-0878 岩手県盛岡市着町4-15 カガヤ着町ビル3F
TEL:019-626-4477 FAX:019-626-1644
Mail: info@iwate-doyu.jp